

apack の使い方

山影 相

2015 年 1 月 27 日

1 コンパイルについて

apack.cpp に関数が定義してある。

main のソースファイル名を hoge.cpp とする。ここから apack.cpp 内の関数を呼び出したい。そのために、hoge.cpp と apack.cpp をコンパイル、リンクすれば良い。MKL を使う場合には以下のようなになる：

```
$ gcc hoge.cpp apack.cpp -lmkl_intel_ilp64 -lmkl_core -lmkl_sequential -lpthread -lm
```

apack.zip 内には各関数の使用例がある。

```
$ make
```

とすると、コンパイルされる。apack.cpp 内で定義される関数は表 1 にまとめられている。

表 1 apack において定義されている関数の一覧。

番号	関数	説明
1	hmlt1d	有限鎖のハミルトニアンをつくる。
2	bddg	エネルギーバンド図のためのデータを出力する。
3	semi_inf	半無限空間におけるグリーン関数を求める。
4	gleft	グリーン関数の漸化式。

2 関数の解説

2.1 有限鎖のハミルトニアンを代入する関数 hmlt1d

```
void hmlt1d(std::complex<double> *a, int N, int g,
std::complex<double> *ε, std::complex<double> *t, int b)
```

有限鎖 (N サイト) のハミルトニアン

$$H = \sum_{n=1}^N c_n^\dagger \epsilon c_n + \sum_{n=1}^N (c_n^\dagger t c_{n+1} + \text{h.c.}) + b \times c_N^\dagger t c_1 + \text{h.c.}$$

$$\rightarrow \begin{pmatrix} \epsilon & t & 0 & \cdots & 0 & bt^\dagger \\ t^\dagger & \epsilon & t & \ddots & & 0 \\ 0 & t^\dagger & \epsilon & \ddots & & \vdots \\ \vdots & \ddots & \ddots & \ddots & \ddots & 0 \\ 0 & & & & & t \\ bt & 0 & \cdots & 0 & t^\dagger & \epsilon \end{pmatrix} \quad (1)$$

を a に代入する。ただし、最近接の跳び移りのみを扱っている。 g は内部自由度の数であり、 ϵ と t は $g \times g$ 行列である。 $b = 0$ は開放境界、 $b = 1$ は周期境界、 $b = -1$ は反周期境界を表す。

hmlt1d.cpp は

$$\epsilon = \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \end{pmatrix}, t = \begin{pmatrix} 5 & 6 \\ 7 & 8 \end{pmatrix}, \quad (2)$$

の場合のハミルトニアンをつくり、それを表示する例題である。

2.2 エネルギーバンド図のためのデータを出力する関数 bddg

```
void bddg(const char *name, void (*hmlt)(std::complex<double>*, double,
double, double), int d, double *kp, int np, int nk)
```

$d \times d$ ハミルトニアン行列 $H(k_x, k_y, k_z)$ の固有値を n_p 個の点 $k_p = \{\Gamma^{(1)}, \dots, \Gamma^{(n_p)}\}$, $\Gamma^{(i)} = (\Gamma_x^{(i)}, \Gamma_y^{(i)}, \Gamma_z^{(i)})$ に沿って求め、出力する。出力されたデータファイル “name” はそのまま gnuplot で描画できる形式になっている。各区間の運動量の分割数は n_k 。 k_p は 1 次元配列として $\{\Gamma_x^{(1)}, \Gamma_y^{(1)}, \Gamma_z^{(1)}, \Gamma_x^{(2)}, \Gamma_y^{(2)}, \Gamma_z^{(2)}, \dots, \Gamma_x^{(n_p)}, \Gamma_y^{(n_p)}, \Gamma_z^{(n_p)}\}$ という形式である。

表 2 hmlt1d の入出力

引数	説明	型
a	ハミルトニアン行列	$(gN)^2$ 成分 double complex
N	サイト数	int
g	内部自由度の数	int
ϵ	オンサイトエネルギー	g^2 成分 double complex
t	ホッピング	g^2 成分 double complex
b	境界条件	int

なお, あらかじめ, ハミルトニアンを配列 a に代入する `void hmlt(std::complex<double> *a, double k_x , double k_y , double k_z)` を定義しておく必要がある.

bddg.cpp は

$$H(k_x, k_y, k_z) = \begin{pmatrix} 0 & \epsilon(k_x, k_y, k_z) \\ \epsilon(k_x, k_y, k_z) & 0 \end{pmatrix}, \quad (3)$$

$$\epsilon(k_x, k_y, k_z) = -2 \cos k_x - 2 \cos k_y - 2 \cos k_z, \quad (4)$$

のエネルギーバンド図を $R(\pi, \pi, \pi) \rightarrow X(\pi, 0, 0) \rightarrow \Gamma(0, 0, 0) \rightarrow M(\pi, \pi, 0) \rightarrow R(\pi, \pi, \pi) \rightarrow \Gamma(0, 0, 0) \rightarrow X(\pi, 0, 0) \rightarrow M(\pi, \pi, 0)$ に沿って描くためのデータファイル “test.dat” を出力する例題である. gnuplot で `plot "test.dat"` とすれば描画できる.

表 3 bddg の入出力

引数	説明	型
name	出力データ	ファイル
hmlt	ハミルトニアン	関数ポインタ
d	ハミルトニアンの次元	int
k_p	高対称点のリスト	$3n_p$ 成分 double 配列
n_p	高対称点の数	int
n_k	運動量の分割数	int

2.3 半無限系におけるグリーン関数

```
void semi_inf(int dim, std::complex<double> z,
std::complex<double> *epsilon, std::complex<double> *t,
std::complex<double> *g)
```

半無限系のハミルトニアン

$$H = \sum_{-\infty \leq i \leq 0} \left(c_i^\dagger \epsilon c_i + c_i^\dagger t c_{i+1} + c_i t^\dagger c_{i-1} \right) \quad (5)$$

の終端 $i = 0$ におけるグリーン関数行列

$$G_\infty^{(L)}(z) = \langle i = 0 | (z - H)^{-1} | i = 0 \rangle \quad (6)$$

を求める.

表 4 semi_inf の入出力

引数	説明	型
g	出力 $G_\infty^{(L)}(z)$	$(\text{dim})^2$ 成分 double complex 配列
dim	行列 ϵ, t の次元	int
z	複素振動数 z	double complex
epsilon	行列 ϵ	$(\text{dim})^2$ 成分 double complex 配列
t	行列 t	$(\text{dim})^2$ 成分 double complex 配列

2.4 グリーン関数の漸化式

```
void gleft(int dim, std::complex<double> z,
std::complex<double> *epsilon, std::complex<double> *t,
std::complex<double> *g0, std::complex<double> *g1)
```

$$G_l^{(L)}(z) = \frac{1}{g_l^{-1}(z) - t_{l-1}^\dagger G_{l-1}^{(L)}(z) t_{l-1}}$$

を計算する.

表 5 gleft の入出力

引数	説明	型
g1	出力 $G_l^{(L)}$	$(\text{dim})^2$ double complex 配列
dim	行列 $t_{l-1}^\dagger, G_{l-1}^{(L)}, t_{l-1}$ の次元	int
z	複素振動数 z	double complex
epsilon	行列 ϵ_l	$(\text{dim})^2$ double complex 配列
t	行列 t_{l-1}	$(\text{dim})^2$ double complex 配列
g0	行列 $G_{l-1}^{(L)}$	$(\text{dim})^2$ double complex 配列